令和元年度 事務事業評価シート

3	蔣務事業名	特別支援教育振興								所					
7	777天口	177	"人"及	扒月	10X 2 						管	学務課			
串	行政計画	事業NC). 44	計	画事業名 特	別支援教	育の推進	<u></u>				事業の開始・終了年度			
	長期総合	[基本目	本目標]あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現								[事業開始	[事業開始] 昭和48 年度			
	計画体系	[施	策] 7 児童・生徒の状況に応じた支援の充実							[終了予算	[終了予定] - 年度				
	根拠法令等	法令(義務) 〔法令等名〕 学校教育法													
務事	事業対象	直接の対象 : 障害のある、またはその心配のある幼児・児童・生徒及びその保護者 最終的な対象 : 同上													
業の概要事務事業の実績	事業目的	就学(就学(園)・転学相談・通級相談を通じて、個々に適切な指導、助言を行い特別支援教育の振								振興を図る。				
	事業内容 [H30年度]	・就学(園)・転学について相談を受け、教育、医療、心理等の専門家による就学相談委員会をのための就学相談小委員会を6回(5月、7月、8月、12月、2月、3月)、支援を必要とする幼児(1月)行い、障害のある幼児・児童・生徒が、個々のニーズに応じた適切な教育を受けられる・特別支援教育推進協議会を5月と2月に開催し、行政と教育現場が区の特別支援教育の現・特別支援教室や通級指導学級利用希望者の増加に応じるため、通級相談委員会を12回実								のための就園相談委員会を1回 よう指導・助言を行った。 別状について情報共有した。					
	委託の有無	一部委託			委託内容	Z									
	補助金の有無		なし		200132	, , ,						LICOTT			
	種別	指標の名称			単位	R2年度	H28年度	H29年 実績			130年度	安武委			
						目標値	実績	夫領		実績	目標値	達成率			
	活動指標	就学相談委員会等数			委員会	8	8		8	8	8	100.0			
	/口到月155	就学·就[·就園·通級相談者数		人	420	269		374	401	285	140.7			
	成果指標	就学相談	就学相談委員会等開催回数			回	73	76		80	78	73	106.8		
	火 木1日1示	副籍事業	副籍事業実施割合 			%	93.0	77.0	8	35.2	89.7	87.0	103.1		
								H28年	度	ŀ	H29年度	H3C)年度		
	決算額 (単位:千円)								11,944		12,774		15,530		
	事務事業コスト		人にかかるコスト(人件費など)					16,185		16,151 21,398					
			物にかかるコスト(物件費・維持補修費)					254		375 314					
			その他のコスト(扶助費・補助費など)					855		858 871					
			総経費					17,294				22,583			
	財源項目 (単位:千円)		受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)					0				C			
			その他特別	定財源	(国や都の支	出金・財産	産収入など)	1,179		1,269					
			一般財源	原(区負担額) 16,115						16,115		21,002			
	課題及び 今後の進め方		相談件数の増加と内容の複雑化、配慮すべき要因も多岐に渡り、他機関との連携を一層強めていく必要がある。												
評価の視点			評価	評価の理由											
	必要性		4	法令等の定めにより行政が実施主体となる必要がある。また、相談者は年々増加しており、特別支援教育に 対するニーズは高まっている。											
	効率性		3	就学相談員を1名増員したことによりコストは増加したが、就学相談件数増加と困難事例に丁寧に対処した。											
	手段の適切性 3			就学相談員(教員経験者)と通級相談員(心理士)が共同して相談に当たることで個々の二一ズを的確に把握している。また、相談委員会に医療・心理・教育の専門家を加えている。											
	目的達成度 4			就学相	談・诵級相談	共に引き	続き増加傾向に	ある中. 各機	関と密に	連携し)適切に対応し	ンた。			
			-	370 3 11	100 20100100			-05 0 1 1 11 112							

障害のある幼児・児童・生徒の適切な就学を推進するため、それぞれの専門性を生かして就学・就園相談、通級相談に丁寧に対応している。今年度は、相談件数の増加や複雑化に対応するため、心理士を1名増員し、体制を充実させた。今後も、個々のニーズを的確に把握しながら情報提供と理解啓発を進め、更なる相談件数の増加や複雑化に適切に対応していく。

維持

拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了